

「興讓の精神」を胸に



興讓館生であったことを心から誇りに
 思います。三年間、本当にありがたご
 さいました。

門出の言葉

卒業生代表 榎本 萌衣
 (米沢一中出身)

本日、ご来賓の皆様や在校生の皆さん、
 先生方、両親に見守られながら卒業式が
 できることを嬉しく思っています。

興讓館に入学した日から今日この日ま
 で、毎日が素敵な思い出に溢れている三
 年間でした。なんといいことのない一日
 も、今となっては、形容しがたい愛おし
 さで満たされていたように感じられます。
 高校生活がこんなにも充実したものに
 なったのは、仲間がいたからです。これ
 からこの絆を大切に、歩んでいきたい
 と思います。



興讓館だより

Yonezawa Kojokan High School

平成30年3月23日発行
 第41号
**山形県立
 米沢興讓館高等学校**
 〒992-1443
 山形県米沢市大字菟野1101
 TEL 0238-38-4741
 FAX 0238-38-2531
<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>

はなむけの言葉

三年生のみなさんへ

在校生代表
 堤 彬
 (米沢七中出身)

この度卒業なさる先輩方に、心よ
 りお祝い申し上げます。入学してか
 ら、この学び舎で過ごす先輩方の姿
 を、憧れの気持ちで見つめてきまし
 た。

先輩方が体育祭や興讓祭といった
 行事の一つ一つに全力で取り組む姿、
 そして、学業に真摯に向き合う姿を、
 私たちは忘れません。

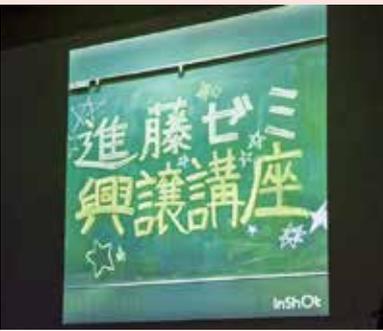
激動の時代、未開の荒野を歩くか
 の様に、一人苦しむ時もあるかと思
 います。しかし、そんな時にこそ、
 この興讓館での日々を振り返ってみ
 てください。仲間と切磋琢磨しあつ
 た日々が自信と勇気を与え、背中を
 押してくれるはずですよ。

先輩方が築いた伝統を引き継ぎ、
 より発展させることができるよう、
 一層励んでいく所存です。
 卒業生の皆さんの輝かしい未来と
 ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



1月
16日

予餞会



センター試験 激励会

1月
12日



**充実していた
センター激励会**
三年一組 川合 章太
(采沢一中出身)

センター試験の前日、センター激励会が行われました。私はセンターの結果が後々に大きく影響するような志望をしていたので、とても緊張していました。しかし、先生や応援団の皆さんの激励のおかげで次第に不安や緊張も少なくなりました。先生方は本当に私たちを一生懸命励ましてくださり、とてもありがたかったです。私たちはこれからそれぞれの道を歩んでいきますが、興譲の精神を忘れず頑張ります。ありがとうございました。

科学の甲子園全国大会

2年3組 金子ののか (米沢一中出身)

私たちは、3月16日から19日にさいたま市で開催される科学の甲子園全国大会に出場します。昨年10月の山形県大会で優勝することができ、興譲館は4連覇を果たしました。現在は全国大会に向け、山形大学で実験についてご指導いただいたり、放課後に事前公開課題である「羽ばたき機」というものを製作したりしています。全国の科学が得意な高校生と競い、高め合えることが楽しみです。良い結果を残せるよう全力を尽くします。応援よろしくをお願いします。



東日本大会に向けて

2年2組 佐藤 洋兵 (米沢二中出身)

私たち弓道部は、県新人大会男子団体（五人立）で準優勝し、3月末に会津若松市で行われる東日本大会への出場権を獲得しました。

大会では、いつも支えてくださる方々への感謝を忘れず、出場できない仲間の思いを胸にチーム一丸となって精いっぱい頑張ってきます。

また、強豪チームとの試合を通して多くのことを学び、春の大会に向けて精進していきたいと思ひます。応援よろしくお願ひいたします。



全国選抜に向けて

2年4組 揚妻 海斗 (高畠二中出身)

私たちフェンシング部は、3月末に行われる全国選抜大会に男女ともに出場します。大会までの時間は残り少ないため、日々の練習を大切に、メンバーがそれぞれ抱える課題を克服したいと思ひます。

また、このような結果を出せたのも、先生方、先輩方、そして家族の支えがあったからです。その感謝を忘れず、本番では一人ひとりが全力を出し切って試合をしたいと思ひます。応援よろしくお願ひいたします。

部活動の記録

運動部

*フェンシング

男子・女子個人 JOCジュニアオリンピックカップフェンシング大会 出場
男子団体フルール 第42回全国高等学校選抜フェンシング大会 出場
女子団体フルール・エペ 第42回全国高等学校選抜フェンシング大会 出場
*剣道：女子個人 第66回全日本都道府県対抗剣道優勝大会山形県予選会 第3位

文化・生産系部活動

○コアスーパーサイエンスクラブ

平成29年度山形県サイエンスフォーラム 高等学校文化連盟科学専門部の部 出場(8題)
最優秀賞 「筋肉細胞が分化する際の細胞外マトリックスの再構築」
優秀賞 「曲がる有機EL」
優良賞 「水面波のシミュレーション」
優良賞 「新奇なスルホニルアニン系蛍光ソルバトクロミック色素の開発」
サイエンスキャッスル2017東北大大会 出場

○吹奏楽研究クラブ

全日本アンサンブルコンテスト置賜地区予選会
・サクソフォン三重奏 金賞 ・クラリネット三重奏 銀賞 ・トロンボーン三重奏 銅賞
全日本アンサンブルコンテスト山形県大会 サクソフォン三重奏 銅賞

○美術部

第22回美術部・OB合同展 開催
第43回米沢水彩展 高校生奨励賞1名
第53回米沢市民芸術祭総合展 出展

○調理科学部

第3回アルファ化米粉レシピコンテスト
最優秀賞「野菜たっぷりハンバーグ」~グルテンフリーのレシピを目指して~ 1名
はつらつセイジン企業賞「しっとりもちり朝食シフォンケーキ」 1名

○音楽部

よねざわステージフェスティバル'16 参加
楓の家 訪問演奏
第48回置賜地区高等学校合唱祭 参加
第28回山形県声楽アンサンブルフェスティバル 講師者特別賞

○その他

山形県高等学校交通安全等標語 優秀賞
置賜地区高等学校交通安全等標語 優秀賞
明るい鉄道環境づくり標語 優秀賞
米沢市消費生活センター主催 消費者川柳コンテスト 優秀賞

39号・40号以後のものなど紹介していなかったものについて掲載しています



スキー授業



上杉雪灯籠まつり



雪灯籠作り

一年三組 山木 郁歩

(高畠中出身)

私たちホッケー部は二日間わたり、男女で二つの雪灯籠を製作しました。とても寒い中での作業でしたが、全員で協力して楽しく作ることができました。私にとっては初めての雪灯籠作りでしたが、参加してよかったことは、とても体力が必要だということでした。あのような美しい雪灯籠を見ることができた裏側には、このような大変な作業があったのだと気付くことができました。このことを胸に、これからの自分の努力へとつなげていきたいと思ひます。

SSH台湾海外研修

SSH台湾海外研修概要

3/4日	移動
3/5日	新竹地区 国立清華大学研修 工業技術研究院 (ITRI) 訪問 台北101訪問
3/6日	国立台湾師範大学附属高級中学研修 英語を用いた相互の課題研究発表・質疑応答・ ランチミーティング・授業体験
3/7日	移動



異文化に身を置いて

二年一組 佐藤 康太(米沢二中出身)

私たち二年生理科は、三月四日から四日間、台湾に研修へ行って参りました。異文化に身を置く貴重な体験でした。一日目は清華大学を大学院生に案内していただき、その後台湾の科学技術発展の中心である工業技術研究院ITRIの見学をさせていただきました。最後には、台湾一の高さを誇る台北101を訪れました。最先端の研究や技術を目の当たりにできる貴重な機会でした。

三日目は台湾師範大学附属高級中学の生徒と会話し、同年代の人との英語での交流はとても刺激になりました。

この四日間で私たちは、異文化の中で暮らす人々と触れ合うという今まで経験したことのない貴重な交流を体験させていただきました。自分たちの成長を実感できた掛け替えのない研修になりました。

イノベーター育成塾 成果発表会

東北サイエンス コミュニティ研究発表会

発表を終えて

二年一組 矢ノ目 樹(米沢二中出身)

僕たちは一月二十六、二十七日に秋田市で行われた東北地区サイエンスコミュニティに参加してきました。一日目は口頭発表、二日目にポスター発表が行われ、旋風の研究成果をポスター発表の形式で発表しました。沢山の人の発表を聞いて頂き、また、様々なアドバイスを頂きました。結果としては優秀賞を頂くことができました。ここで満足せず、次の校内発表までに直すべきところを直し、研究を楽しんで良い発表ができるように努力していきます。



スター発表が行われました。また、口頭発表の後には他校の生徒と問題解決型ワークショップに取り組みました。 pasta と タコ糸、テープを使ってどれだけマシユマロを高い場所に置くことができます。



二年二組 淀野 史貴(川西中出身)

イノベーター育成塾に参加して、貴重な体験ができたと思います。僕の研究は「水面波のシミュレーション」というものです。具体的には、液体を質点の集まりと考え、その動きを運動方程式を用いてシミュレーションします。発表会では、自分の研究内容・成果を英語で発表しました。



当然、質疑応答や進行も英語です。研究発表は原稿等を準備したため、うまくできましたが、質疑応答では、質問されていることの意味が理解できず、うまく返答することができません。このような経験から、科学の面白さと英語の重要性を改めて感じました。高校では学ぶことができないような深い内容や高度な実験から、科学の視野が広がりました。また、普段の英語は読み書きしかしていませんが、話すことも大切だと実感しました。今回学んだことを、高校・大学で活かしていきたいと思えます。

を質点の集まりと考え、その動きを運動方程式を用いてシミュレーションします。発表会では、自分の研究内容・成果を英語で発表しました。

